



# 地域拠点完成！「おうらバスターミナル」 「農産物直売所でんえんマルシェ」

邑楽町 都市計画課

邑楽町では、国道354号沿線に、町の交通拠点となる「おうらバスターミナル」とJA邑楽館林による農産物直売所「でんえんマルシェ」が整備されオープンしました。両施設は令和3年5月1日、市街化調整区域における“まちのまとまりの形成”を目的として施行した邑楽南地区の地区計画における地域拠点施設として整備したものです。今回は、居住誘導施策となる本地区計画の背景と、計画内の中心拠点となる両施設についてご紹介いたします。

## ■ 邑楽南地区の地区計画について

### (1) 地区計画施行の背景

邑楽町は、住居系の市街化区域が全面積の約1割程度であり、都市計画の観点からコンパクトなまちとなっています。一方で、過去の合併の歴史と平坦な地形から、市街化調整区域内に、昔からの既存集落が分散して残っており、現在でも人口の約7割が居住している状況です。そのため、今後の既存集落における地域コミュニティを維持していくために、“まちのまとまり”を意識した市街化調整区域内の地区計画制度を設定しました。

### (2) 地区計画内に4種類の土地利用区域を設定

本地区計画の目標は、市街化調整区域における、まとまりのない開発の抑制と既存の地域コミュニティの維持にあります。これらを踏まえ、市街化調整区域で公共施設が集約している地域を中心として約100haの範囲を設定しました。計画的な土地利用を図るために、①戸建ての住宅開発を主とした住宅地区、②公共施設の維持を図る公共施設地区、③地域住民の生活必需品や飲食店など、一定規模までの店舗開発を主とする生活利便施設誘導地区、そして、④交通の要衝となるバスターミナルと農産物直売所を設定した地域拠点地区の4地区を設定しました。



邑楽南地区の地区計画図



整備された地域拠点地区周辺の様子

## ■ バスターミナルによる地域公共交通ネットワーク設定

おうらバスターミナルは、地区計画の中心地となる地域拠点地区に位置しています。国道354号に面しており、輸送の速達性を生かした高速バス路線と施設供用に合わせて再編を行った町内循環バスが乗り入れています。町内外への地域の交通拠点としてはもちろんのこと、周辺施設を利用する方の駐車場としても活用できます。



新たな交通拠点となる「おうらバスターミナル」

## ■ 農産物直売所のオープンにより生活の利便性が向上

農産物直売所でんえんマルシェは、JA邑楽館林による民間の施設として、おうらバスターミナルの隣接地にオープンしました。これまでスーパーなどの食料品店が無かった本地域では、自動車を利用して買い物へ行く必要がありました。しかし、直売所がオープンしたことにより、歩いて新鮮な野菜などの買い物ができるようになり、地域の利便性を向上させています。地元の農産物を中心に販売していることから、地域農業の活性化の一助になることも期待されています。



新しくオープンしたJA農産物直売所  
「でんえんマルシェ」

今回、地区計画区域内において、地域の拠点となる2つの施設がオープンしました。両施設を中心として市街化調整区域の“まちのまとまり”をゆるやかに誘導し、地域の活性化と農地など周辺の自然環境の保全による、持続可能なまちづくりを進めていきます。